

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	01	林業総務費
大事業	051	林業事務事業							
中事業	01	林業事務事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-1	農林水産業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	林業の振興を推進するために必要な経常経費及び各種林業関連団体への支援により、林業全般にわたり振興を図る。
実手法手段	・林業振興に伴う事務費、関係機関への負担金及び県営事業負担金等を支出する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	800	2,000	6,197
	人件費	1,007	3,555	3,981
	総事業費	1,807	5,555	10,178
人員	正職員	0.15 人	0.50 人	0.56 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.15 人	0.50 人	0.56 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源		1,500	5,700
	一般財源	1,807	4,055	4,478

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	伐採届出件数	件	目標	20	20	20	20
			実績	23	12	16	25
			達成率(%)	115.00	60.00	80.00	125.00
成果	指標の説明 地域森林計画対象森林における伐採行為実施者からの届出数						
指標	森林経営計画数	件	目標	4	4	4	4
			実績	4	4	4	4
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
活動	指標の説明 森林経営計画の有効件数						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標の説明						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標の説明						
指標に基づく評価	概ね目標を達成しています。伐採届出件数の増加は、市ホームページにおける広報活動によるものと考えます。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない 各種林業関連団体への負担金を通して市の林業振興を推進するとともに森林基幹道剣ヶ岳線の早期完成を目指して、地元及び各関係機関等と一層の連携を図りながら事業を実施した結果、平成27年度をもって完成することができました。
これまでの見直しや改善等の実績	特になし

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	各種林業関連団体への負担金を通して市の林業振興を推進します。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	01	林業総務費
大事業	051	林業事務事業							
中事業	06	緑の少年団活動支援事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部 林業水産振興課
	基本計画	3-2	林業の振興		
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-1	農林水産業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（団体補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱、緑の募金事業実施要綱ほか		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	緑の少年団の活動に対し、県緑化推進委員会に併せて市の補助を行うことで、緑化に対する意識の高揚を図る。
実施方法手段	旧町各1組織の緑の少年団の活動に対し、県緑化推進委員会による緑の少年団に交付金を併せて市が支援し、緑化に対する意識の高揚を図る。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	240	240	240
	人件費	1,343	1,422	1,757
	総事業費	1,583	1,662	1,997
人員	正職員	0.20 人	0.20 人	0.25 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.20 人	0.20 人	0.25 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	160	160	160
	一般財源	1,423	1,502	1,837

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	緑の少年団活動数	団体	目標	4	4	4	4
			実績	4	4	4	4
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	継続的な緑化活動の実施により、団員の緑化に対する意識が醸成されています。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	4つの各緑の少年団の活動を通して、団員の緑化に対する意識を育むことができました。		
これまでの見直しや改善等の実績	特になし		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	緑の少年団の活動を通して、団員の緑化に対する意識の高揚を図ります。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	01	林業総務費
大事業	001	松くい虫防除事業							
中事業	01	松くい虫防除事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部 林業水産振興課
	基本計画	3-2	林業の振興		
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-1	農林水産業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	森林病虫害等防除法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	松くい虫被害総合対策事業、松くい虫被害特別対策事業			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	<p>国定公園内の景観を構成し、潮害や風害を防ぐなど市民の生活環境に重要な役割を果たしている松林を松くい虫被害から守るため、適期に適正な防除や駆除を行うことにより松くい虫被害の蔓延防止に努め、松林の保全対策を図る。</p>
実手法手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害状況の推移を把握するため被害調査を実施する。</li> <li>被害の予防として薬剤の地上散布、樹幹注入を実施する。</li> <li>被害の蔓延を防ぐため特別伐倒駆除を実施する。</li> </ul>

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	22,191	25,215	16,804
	人件費	2,685	5,758	5,130
	総事業費	24,876	30,973	21,934
人員	正職員	0.40 人	0.81 人	0.73 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.40 人	0.81 人	0.73 人
財源内訳	国県支出金	8,915	11,150	6,981
	その他特定財源			
	一般財源	15,961	19,823	14,953

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	地上散布	ha	目標	20.0	20.0	19.5	19.5
			実績	20.0	20.0	19.5	19.5
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
成果	指標の説明 地上散布実施面積						
指標	樹幹注入対象区域面積	ha	目標	1.9	3.3	1.5	5.0
			実績	1.9	3.3	1.5	5.0
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
成果	指標の説明 樹幹注入対象区域面積						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明						
指標に基づく評価	計画区域内において、地上散布や特別伐倒駆除、樹幹注入を併用した総合的な防除を展開し、被害の拡大を防いでいます。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	事業実施により松くい虫による被害の拡大は防げましたが、他エリアからの侵入を完全に防ぐことは困難であるため、今後も継続して実施していく必要があります。	
これまでの見直しや改善等の実績	特になし	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	景観・生活環境に対して重要な役割を果たしている松林について防除事業（地上散布・特別伐倒駆除・樹幹注入）の実施により継続して松くい虫による被害を抑制していきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大事業	001	松くい虫防除事業							
中事業	06	松林健全化促進事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部 林業水産振興課
	基本計画	3-2	林業の振興		
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-1	農林水産業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有		松くい虫被害総合対策事業		

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	松くい虫被害により森林資源の減少した海岸松林等に、抵抗性マツの植栽等を実施し、健全な松林の維持再生を図る。
実施手法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>抵抗性マツの植栽により、松林の健全化を促進する。</li> <li>植栽後の下刈り等維持管理を実施する。</li> </ul>

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	550	659	826
	人件費	1,343	640	562
	総事業費	1,893	1,299	1,388
人員	正職員	0.20 人	0.09 人	0.08 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.20 人	0.09 人	0.08 人
財源内訳	国県支出金	360	360	360
	その他特定財源			
	一般財源	1,533	939	1,028

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	抵抗性松植栽本数	本	目標	134	158	170	196
			実績	128	122	128	160
			達成率(%)	95.52	77.22	75.29	81.63
指標の説明		前年度に枯損した松木本数に対する植栽本数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	枯損木伐採跡地の維持管理によって、目標をやや下回る数値で推移しています。松くい虫に強い抵抗性クロマツを植栽することにより、松林の維持再生を図ることができました。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	植栽後の松が強風により倒伏する事例が見受けられます。台風期、冬期の風雨に耐え得る強固な松林を形成するためには、天然で芽生える松の発生促進により松林の健全化について検証する必要があります。	
これまでの見直しや改善等の実績	特になし	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成34年度	
方向性の説明	抵抗性クロマツ植栽により、森林資源の減少した松林の再生を図ることができました。今後は天然で芽生える松の発生促進により松林の健全化を促進していきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大事業	051	山林維持管理事業							
中事業	01	林道維持管理事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-1	農林水産業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		県農林水産部産材活用課・森づくり課所管補助金交付要綱		
関連計画・マニュアル	有		坂井市森林整備計画		

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	森林機能の確保と森林資源の活用保全に資する森林内の作業を容易にするため、林道の適正な維持管理を行う。
実方手法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県単林道事業（補助事業）に該当しない軽微な修繕や改良事業により、林道の適正な維持管理を行う。</li> <li>・工事積算に係るシステムの保守点検を委託契約により実施する。</li> </ul>

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	3,165	2,757	3,486
	人件費	1,343	2,986	2,986
	総事業費	4,508	5,743	6,472
人員	正職員	0.20 人	0.42 人	0.42 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.20 人	0.42 人	0.42 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	4,508	5,743	6,472

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	林道維持補修費	千円	目標	3,500	3,200	3,500	3,500
			実績	3,007	2,595	3,324	2,442
			達成率(%)	85.91	81.09	94.97	69.77
指標の説明		林道の維持補修に係る費用					
活動	林道補修工事件数	件	目標	10	10	10	10
			実績	12	10	12	10
			達成率(%)	120.00	100.00	120.00	100.00
指標の説明		林道の維持補修に係る工事件数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	落石や融雪による路面洗掘等の異常が認められる林道について、工事発注により修繕し工事件数による目標値を達成し、適切な林道の管理を実施しています。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	林道の適切な補修等により、利便性の向上と安全性を確保し、森林の適正な管理や効率的な林業経営に資することができました。林道の維持管理は重要な事業ですが、市職員の人員不足により定期的な巡回業務が困難になってきています。	
これまでの見直しや改善等の実績	特になし	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	落石や融雪による路面洗掘等の異常が認められる林道について、適切な林道の管理を実施していきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大事業	051	山林維持管理事業							
中事業	06	県単林道事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部 林業水産振興課
	基本計画	3-2	林業の振興		
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-1	農林水産業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		県農林水産部産材活用課・森づくり課所管補助金交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	林業従事者や利用者の利便性の向上と安全性の確保を図るため、県補助事業を活用しながら林道改良工事等を行う。
実方手法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道河内南谷線改良工事 [工事概要] 路面改良工（Co舗装）延長 L=160m 面積 A=633.0㎡</li> <li>林道曾谷豊原線改良工事 [工事概要] 路面改良工（Co舗装）延長 L=70m 面積 A=289.3㎡</li> </ul>

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	7,659	6,000	12,900
	人件費	1,343	2,417	2,133
	総事業費	9,002	8,417	15,033
人員	正職員	0.20 人	0.34 人	0.30 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.20 人	0.34 人	0.30 人
財源内訳	国県支出金	3,800	3,000	6,450
	その他特定財源	3,800	1,700	6,400
	一般財源	1,402	3,717	2,183

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	林道改良工事件数	件	目標	2	2	2	3
			実績	2	2	2	3
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明		林道改良工事発注件数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		大雨等により異常が頻発する路線について、計画的に改良工事を実施し、目標を達成しています。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	風雨等により路盤が洗掘され通行に支障が生じている林道の改良工事を施工し、林道利用者の利便性の向上と安全性を確保することができました。コンクリートなどの資材価格の高騰により、施工可能延長が減少しています。	
これまでの見直しや改善等の実績	特になし	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	林道の利用について、利便性向上と安全性確保を図るため、改良工事を実施していきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大事業	051	山林維持管理事業							
中事業	11	森林整備事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	3-2	林業の振興		林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-1	農林水産業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	有	森林法			
根拠例規	有	林業水産振興課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	有	坂井市森林整備計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	森林の面的整備及び振興施設整備事業に要する経費を補助することにより、森林の有する多面的機能を発揮させ、適切な森林整備を推進する。
実手法手段	事業実施主体が実施する森林整備に要する経費の一部（3%～6%）を補助する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	6,000	6,000	6,000
	人件費	1,007	995	924
	総事業費	7,007	6,995	6,924
人員	正職員	0.15 人	0.14 人	0.13 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.15 人	0.14 人	0.13 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	7,007	6,995	6,924

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	補助件数	件	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	1
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明		森林整備事業費補助金補助件数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		森林整備について確実に目標を達成し、適切な森林整備を推進しているため、森林の有する多面的機能が発揮されていると考えます。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	森林の有する多面的機能を持続的に発揮していくために、間伐等の面的整備と作業路の整備を推進しました。		
これまでの見直しや改善等の実績	特になし		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	森林の有する多面的機能の発揮を図り、適切な森林整備を推進するためにも今後も継続していく必要があります。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大事業	051	山林維持管理事業							
中事業	16	森林整備地域活動支援交付金事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部 林業水産振興課
	基本計画	3-2	林業の振興		
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-1	農林水産業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	森林経営計画に基づく計画的かつ適切な森林整備を推進し、森林の多面的機能の発揮を図る。
実施手法等	森林経営計画に基づく計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、林業従事者等による森林施業の集約化に必要な「施業集約化の促進」及び「森林経営計画作成・施業集約化に向けた条件整備」などを支援する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	4,480	5,600	5,600
	人件費	1,343	924	853
	総事業費	5,823	6,524	6,453
人員	正職員	0.20 人	0.13 人	0.12 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.20 人	0.13 人	0.12 人
財源内訳	国県支出金	3,360	4,200	4,200
	その他特定財源			
	一般財源	2,463	2,324	2,253

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	協定数	件	目標	1	1	1	2
			実績	1	1	1	2
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明		森林整備地域活動実施協定の締結数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	これまで全ての年度において目標を達成しています。引き続き、施業の集約化を促進し適切な森林整備を推進していきます。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない 作業路網の改良活動や間伐等施業集約化の促進により、森林の保全、水資源のかん養などを向上させることができ森林の有する多面的機能が持続的に発揮されました。
これまでの見直しや改善等の実績	特になし

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	適切な森林整備の推進を通じて森林の多面的機能の発揮を図るため、林業者等による森林施業の集約化に必要な事業を支援していきます。				



平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
大事業	101	美しい森林景観再生事業							
中事業	01	美しい森林景観再生事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部 林業水産振興課
	基本計画	3-2	林業の振興		
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-1	農林水産業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		美しい森林景観再生事業実施要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	自然災害や森林病害虫被害等により機能が低下している森林の機能回復や美しい森林の再生を図る。
実方手法手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>花木などの広葉樹等を植栽する。</li> <li>景観を阻害する不用木の除去を行う。</li> </ul>

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,000	1,100	1,500
	人件費	1,343	640	562
	総事業費	2,343	1,740	2,062
人員	正職員	0.20 人	0.09 人	0.08 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.20 人	0.09 人	0.08 人
財源内訳	国県支出金	900	990	1,350
	その他特定財源			
	一般財源	1,443	750	712

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	再生事業費	千円	目標	1,000	1,100	1,500	1,000
			実績	1,000	1,100	1,500	1,000
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
成果	指標の説明 美しい森林景観再生事業に係る費用						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標の説明						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標の説明						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標の説明						
指標に基づく評価	これまで全ての年度において目標を達成しています。引き続き、美しい森林景観の再生を図っていきます。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	松くい虫の被害等により景観が損なわれた坂井市海浜自然公園や国定公園の美化回復ができました。		
これまでの見直しや改善等の実績	特になし		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	自然災害や森林病害虫被害等により機能が低下している森林が見受けられるため、森林機能の回復や美しい森林景観の再生を図ります。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	01	水産業総務費
大事業	051	水産業事業							
中事業	01	水産業事務事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部 林業水産振興課
	基本計画	3-3	水産業の振興			
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-1	農林水産業の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	漁港、漁場、漁村及び水産都市の総合的整備を促進するための活動を行う福井県漁港漁場協会に協賛することにより、坂井市の漁村地域の発展と地活性化を目指します。
実施手段	協会は、海岸整備促進の支援、漁港漁場検診の実施、漁港漁場講習会の開催漁、漁港漁場漁村環境美化に関する啓発普及、機関誌・紙の発行、漁港漁場漁村PR、ふれあい、記念等イベントの開催、支援、漁港美化愛護運動の支援・啓発広報普及に関するパンフレットの刊行、日韓漁港技術交流会議を実施しています。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	104	88	60
	人件費	1,208	711	773
	総事業費	1,312	799	833
人員	正職員	0.18 人	0.10 人	0.11 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.18 人	0.10 人	0.11 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	1,312	799	833

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	福井県漁港漁場協会	団体	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	1
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	福井県および他市町が参加しており、漁業、水産業事業促進を図るうえで必要と思われる。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない 福井県漁港漁場協会に係る負担金。栽培漁業推進・全国の先進事例の案内など有効活用できています。
これまでの見直しや改善等の実績	特になし

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	今後も水産事業振興のため継続して実施します。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	001	漁港漁場整備事業							
中事業	01	漁港施設管理事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興			林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-1	農林水産業の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業		
根拠法令	有	漁港漁場整備法				
根拠例規	有	坂井市漁港管理条例				
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	坂井市管理の漁港を適正に維持管理します。
実方手法手段	漁港施設の老朽化、毀損、汚損などにより復旧を行います。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	30,443	4,427	16,428
	人件費	1,208	1,706	1,757
	総事業費	31,651	6,133	18,185
人員	正職員	0.18 人	0.24 人	0.25 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.18 人	0.24 人	0.25 人
財源内訳	国県支出金	11,900		13,057
	その他特定財源	6,480	1,274	673
	一般財源	13,271	4,859	4,455

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	管理する漁港数	漁港	目標	3	3	3	3
			実績	3	3	3	3
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明		維持管理上の瑕疵による事故発生件数が少ないことで成果が上がる。					
指標	事故数	件	目標	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明		維持管理上の瑕疵による事故発生件数が少ないことで成果が上がる。					
指標	利用者数	名	目標	87	96	96	104
			実績	87	96	96	104
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明		漁業協同組合員が漁業従事した数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	漁港利用者は、漁業協同組合の組合員減少により減少傾向にあり、また、高齢化が進んでいる。漁港施設の利用の面から安全に利用され、事故などの発生はなく適正に管理がされています。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	施設の機能を良好な状態に保つため、定期的保守点検を実施。漁港施設の保全の為、計画的な補修修繕を実施する必要があります。	
これまでの見直しや改善等の実績	特になし	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	漁業者等の漁港内の事故防止と安全管理並びに有効利用を図るため、今後も本事業を継続実施して行きます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	001	漁港漁場整備事業							
中事業	06	浅海漁場改善事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部 林業水産振興課
	基本計画	3-3	水産業の振興		
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-1	農林水産業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	浅海漁業者の活動範囲に漁業者では対応できない漂着物の処理等に対して対処します。
実手法手段	漁業者が処理できない漂着物の撤去。ただし、市が管理する漁港施設の範囲内とします。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,121	48	100
	人件費	1,208	853	914
	総事業費	2,329	901	1,014
人員	正職員	0.18 人	0.12 人	0.13 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.18 人	0.12 人	0.13 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	2,329	901	1,014

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	漂着物の処分数	件	目標	1	1	1	1
			実績	3	1	1	1
			達成率(%)	300.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明		漁港施設内の漂着物の処分件数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		漂着物の処理については、利用者である漁業協同組合が実施しているが、人の力では処理しきれない流木などを対象としています。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	冬期間の波浪等により漂着物が年数回発生している。自然現象によるもので防ぐことはできないが、漁港施設内に漂着物が漂うことは、施設の破損などの影響があるため早急な対応が求められています。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	自然災害的に発生する漂着物が無くなることは無いため、継続する必要があります。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	001	漁港漁場整備事業							
中事業	11	小規模漁場保全事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部 林業水産振興課
	基本計画	3-3	水産業の振興			
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-1	農林水産業の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	福井県の主要な水産ブランドである「越前ガニ」、「甘エビ」、「アカガレイ」の生息環境となる漁場について、積極的な保全・創造を図るため海底面を耕耘し、活性化することにより水産資源の持続的利用、安定供給を図り、あわせて豊かで住みよい漁村の振興に資することを目的とします。
実方手法等	海底を耕耘することにより、長期間体積硬化した底土を攪拌することにより飼料生物の繁殖を促し、対象魚種（ホッコクアカエビ、アカガレイ、エチゼンガニ）の生息環境を改善します。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	27,592	26,028	24,927
	人件費	1,208	924	1,195
	総事業費	28,800	26,952	26,122
人員	正職員	0.18 人	0.13 人	0.17 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.18 人	0.13 人	0.17 人
財源内訳	国県支出金	20,523	18,750	18,525
	その他特定財源	2,913	2,959	2,819
	一般財源	5,364	5,243	4,778

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	越前がに 水揚げ量	kg	目標				
			実績	77,384.0	85,520.0	92,270.0	129,419.0
成果	指標の説明		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
			漁業協同組合が水揚げした量				
指標	アカガレイ 水揚げ量	kg	目標				
			実績	30,368.0	39,360.0	52,791.0	59,138.0
成果	指標の説明		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
			漁業協同組合が水揚げした量				
指標	甘えび 水揚げ量	kg	目標				
			実績	286,541.0	313,962.0	252,358.0	246,420.0
成果	指標の説明		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
			漁業協同組合が水揚げした量				
指標			目標				
			実績				
成果	指標の説明		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
			漁業協同組合が水揚げした量				
指標に基づく評価		水揚げ量については、TAC（漁獲可能量制度）に加え自主規制や気温、水温、気象等の自然条件及び漁船数の減少から単純比較ができません。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない 水揚げ量については、TAC（漁獲可能量制度）に加え自主規制や気温、水温、気象等の自然条件及び漁船数の減少から単純比較ができません。
これまでの見直しや改善等の実績	効果的な事業実施場所の検討を行いました。

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	当該事業は、三国沖のみならず越前沖、小浜沖等県内の広域な漁場に対して行われる事業であるため、福井県水産課と今後の事業について検討していきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	051	水産業経営支援事業							
中事業	01	水産業経営支援事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部 林業水産振興課
	基本計画	3-3	水産業の振興			
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-1	農林水産業の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）		
根拠法令	無					
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金交付要綱			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	漁家経営の安定及び新規就業者支援を図ることを目的とします。
実施手法等	漁業経営の貸付に係る利子補給および運転資金調達の体制整備、漁獲共済加入の促進、漁業経費高騰に係る燃油補助、新規就業者支援の体制整備などにより安定した漁業生産の維持と足腰の強い漁家経営の確立を図るため支援します。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	28,321	29,412	29,806
	人件費	873	355	492
	総事業費	29,194	29,767	30,298
人員	正職員	0.13 人	0.05 人	0.07 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.13 人	0.05 人	0.07 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	29,194	29,767	30,298

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	漁業経営の貸付利子補給	件	目標				
			実績	17	23	27	
		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
活動	指標の説明 利子補給の対象となった件数						
指標	新規就業者支援	件	目標				
			実績	1	0	0	0
		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
活動	指標の説明 新規就業者支援の対象となった件数						
指標	燃油高騰対策	件	目標				
			実績	40	40	40	
		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
活動	指標の説明 漁業燃油補助対象者で補助申請した経営対数						
指標	漁獲共済加入	件	目標				
			実績	7	7	7	9
		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
活動	指標の説明 漁獲共済加入のうち支援の対象となった件数						
指標に基づく評価	漁業経営に関する支援により効果があると考えているが、気温、水温、気象等の自然条件の影響があるため、事業評価を数値のみで評価することはできません。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない 業業経営は、水揚げ、経費、気象、従事者等のさまざまな影響があり、漁業のみで生計を立てることが難しくなっている。このことから近年漁業者の減少が続いています。
これまでの見直しや改善等の実績	国県などの支援など総合的に必要な経営支援を検討しました。

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明	支援項目のひとつである燃油高騰対策事業は、漁業形態の相違により公平な支援にならない傾向がある。このため新たな担い手育成にも寄与する漁業経営支援体制に改善する必要があります。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業							
中事業	06	栽培漁業自立支援事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部 林業水産振興課
	基本計画	3-3	水産業の振興			
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-1	農林水産業の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）		
根拠法令	無					
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	栽培漁業を推進することにより、沿岸域及び浅海域の主要な漁業資源の回復を図ることと併せ、資源管理型漁業を推進することにより資源の持続的な活用を目指し、天然マダイ、天然ヒラメ、アワビ等の漁獲量シェアの確保が可能な体制を作ることにより、中核的漁業者の育成及び漁業後継者の確保を図ります。
実手法手等	・三国港漁業協同組合、雄島漁業協同組合が実施する種苗（ヒラメ、マダイ、アワビ）放流事業を自立して継続実施するための新たな体制を整備することを目的として実施します。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	2,189	1,999	2,220
	人件費	1,343	498	633
	総事業費	3,532	2,497	2,853
人員	正職員	0.20 人	0.07 人	0.09 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.20 人	0.07 人	0.09 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	3,532	2,497	2,853

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	アワビ放流数/水揚げ量 1個=200g	個	目標	37,000	23,000	39,000	32,000
			実績	1,500	3,000	3,000	2,500
			達成率(%)	4.05	13.04	7.69	7.81
指標の説明		目標：放流数 実績：水揚げ量					
指標	ヒラメ放流数/水揚げ量 1尾1kg	尾	目標	30,000	31,000	33,000	37,000
			実績	1,200	1,200	1,300	1,200
			達成率(%)	4.00	3.87	3.94	3.24
指標の説明		目標：放流数 実績：水揚げ量					
指標	マダイ放流数/水揚げ量 1尾1kg	尾	目標	17,000	17,000	16,900	18,000
			実績	5,500	5,300	4,400	5,400
			達成率(%)	32.35	31.18	26.04	30.00
指標の説明		目標：放流数 実績：水揚げ量					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		放流による水揚げ量効果については、1年後から出現するため達成率については、単純比較できない。また、遊漁者への効果も大きいため漁業者が水揚げした漁のみでは評価できないが、遊漁者の数は年々増加しています。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	事業効果を指標にて示すことは、気象等の影響があるため難しいです。	
これまでの見直しや改善等の実績	水揚げ量、気温、水温、気象等の自然条件から総合的に判断して、次年度以降の種苗放流、稚貝放流の種類及び量について各漁協と協議し、適切な放流計画を立てました。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	事業効果を指標にて示すことは、気象等多くの要因があるため難しいが、水揚げ量の推移から効果はあるものと考えられ、受益者負担も妥当な金額と考えられる。今後、市場の魚価や自然環境の変化に対応した新しい魚種の放流を考えていく必要があり、その事業効果が上がれば坂井市の漁業後継者育成につながるものと考えられます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06 農林水産業費	項	03 水産業費	目	02 水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業				
中事業	16	越前がにブランド化事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部 林業水産振興課
	基本計画	3-3	水産業の振興		
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-1	農林水産業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	坂井市の重要な水産ブランドである「越前ガニ」の高付加価値化の取り組みをすることにより水産振興を行います。また、それによる地域経済活性化も期待します。
実方手法手段	三国港機船底曳網漁業協同組合が作成する越前がにタグ作成に係る費用について補助を行います。

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	999	999	971
	人件費	1,007	284	351
	総事業費	2,006	1,283	1,322
人員	正職員	0.15 人	0.04 人	0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.15 人	0.04 人	0.05 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	2,006	1,283	1,322

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	タグ製作数量	万個	目標	10	10	10	10
			実績	10	10	10	10
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
成果	漁業経営体数	経営	目標	9	10	10	12
			実績	9	10	10	12
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明		三国港機船底曳網漁業協同組合の経営体数					
指標	漁業従事者	人	目標	58	62	63	75
			実績	58	62	63	75
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明		底曳網船の乗組員の数					
指標	越前がに 水揚量	kg	目標				
			実績	77,384.0	85,520.0	92,270.0	129,419.0
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	越前がにの水揚げ量は減少しているが、ブランド化により魚価が向上しているため水揚げ金額は同水準を維持できています。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	差別化によるブランド化は、必要であるが全ての越前がにの価格が高騰しすぎることは避けなければならないと考えます。	
これまでの見直しや改善等の実績	三国港機船底曳網漁業協同組合の水揚げ量調査及び水揚げ高を参考に、「越前ガニ」の単価を調査し、事業効果を確認しました。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	越前がにのブランドを継続して維持する必要があります。				



平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06 農林水産業費	項	03 水産業費	目	02 水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業				
中事業	26	三国港内夜間安全確保事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部 林業水産振興課
	基本計画	3-3	水産業の振興		
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-1	農林水産業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	福井港内にある三国港地区内における船舶の安全航行と、漁業者及び観光客等の転落事故等を防止することを目的とします。
実方手法手段・	三国港機船底曳網漁業協同組合が設置した三国港内の投光機の電気料を補助します。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	720	720	720
	人件費	1,007	284	351
	総事業費	1,727	1,004	1,071
人員	正職員	0.15 人	0.04 人	0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.15 人	0.04 人	0.05 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	1,727	1,004	1,071

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	漁業者及び観光客等の転落事故	回	目標	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標	航路内の船舶事故	回	目標	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	投光機により事故などが無く安全性が認められます。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない 投光機をLED化に更新を随時行っているが、現状は未了である。電気使用量の削減にも寄与するため更新を推進する必要があります。
これまでの見直しや改善等の実績	投光機の現状を確認し、転落事故防止に必要な数量を検討しました。

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	船舶の安全航行のみならず、歩行者の安全を図ることから妥当性は高と考えます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業							
中事業	31	漁業関係種苗中間育成施設管理事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部 林業水産振興課
	基本計画	3-3	水産業の振興		
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-1	農林水産業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無		額北地域栽培漁業推進協議会 中間育成施設管理規約		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	額北地域栽培漁業推進協議会は、栽培漁業の効果的、かつ円滑なる推進に関する事項などを協議して栽培漁業の定着化を促進し、漁業生産の安定向上に資することを目的としています。 協議会は、中間育成施設等の管理運営を行い、中間育成による放流効果を高めま
実施手法等	中間育成施設において、ヒラメ・アワビ等の育成を行い、放流事業に係る費用負担を低減させています。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	500	500	500
	人件費	1,343	284	351
	総事業費	1,843	784	851
人員	正職員	0.20 人	0.04 人	0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.20 人	0.04 人	0.05 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	1,843	784	851

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	協議会加入団体	団体	目標				
			実績	4	4	4	4
活動			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
			指標の説明	協議会加入団体：坂井市、福井市、越前町、南越前町			
指標	中間育成（ヒラメ）坂井市分	尾	目標				
			実績	30,000	31,000	33,000	37,000
活動			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
			指標の説明				
指標	中間育成（アワビ）坂井市分	個	目標				
			実績	37,000	23,000	39,000	32,000
活動			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
			指標の説明				
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
			指標の説明				
指標に基づく評価		放流費用に掛かる費用について、共同運用実施することは放流単価を低減させることができることから効果があります。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	中間育成施設の老朽化に伴う施設維持計画を作成する必要があります。	
これまでの見直しや改善等の実績	中間育成施設の有効利用について、事務局会議で検討を行っています。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	放流費用に掛かる費用について、共同運用実施することは放流単価を低減させることができることから維持すべきと考えます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業							
中事業	36	内水面漁業振興事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部 林業水産振興課
	基本計画	3-3	水産業の振興			
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-1	農林水産業の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）		
根拠法令	無					
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	内水面漁業資源増大を図るため、組織的な種苗放流及び種苗生息環境整備等を行い、あわせて豊かで住みよい地域の振興に資することを目的とします。
実施手法等	放流事業、漁場維持管理事業 漁場環境美化活動（清掃等）を関係漁業協同組合が行います。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	4,225	230	140
	人件費	1,007	284	703
	総事業費	5,232	514	843
人員	正職員	0.15 人	0.04 人	0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.15 人	0.04 人	0.10 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	5,232	514	843

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	漁場維持管理（草刈、巡回監視）	日	目標				
			実績	80	78	77	54
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明		竹田川漁業協同組合が実施した日数					
指標	放流事業（アユ）	kg	目標				
			実績	95.0	95.0	85.0	100.0
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明		竹田川漁業協同組合が放流した数					
指標	放流事業（ヤマメ）	kg	目標				
			実績	30.0	40.0	45.0	20.0
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明		竹田川漁業協同組合が放流した数					
指標	放流事業（イワナ）	kg	目標				
			実績	25.0	35.0	40.0	15.0
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明		竹田川漁業協同組合が放流した数					
指標に基づく評価		漁業協同組合が漁場を維持管理することで、環境美化に寄与している。また、自然豊かな環境で遊漁できることは、観光客誘致などにも寄与している。遊漁者が多く訪れる条件としては、自然環境に加え多く魚が居る必要があるため、放流事業も効果が認められます。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	組合活動経費に制限があることから満足できる放流量が実施できていません。	
これまでの見直しや改善等の実績	活動内容や決算内容から、事業の有効性を確認した。また、漁業協同組合と協議し今後の方向性について模索しました。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	内水面漁業者への水産振興が事業の目的であるが、人口が減少する竹田地区においては環境の維持、美化に寄与することが大きな成果となっている。今後は、放流事業の拡大等を行うことにより、地域振興を含めた事業効果が期待できるものと思われま。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	101	水産業振興事業							
中事業	56	水産業振興イベント事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり	所管部局	産業環境部 林業水産振興課
	基本計画	3-3	水産業の振興		
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化		
	施策	4-1	農林水産業の振興		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		林業水産振興課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	坂井市で獲れた水産物を市内外にPRするとともに、販売ルートの拡大および魚食の普及を図ることを目的とした「三国市場さかな祭」事業に対して、事業に要する経費について支援し水産振興の推進を図ります。
実方手法等	イベントを通じて、三国港機船底曳網漁業協同組合、三国港漁業協同組合、雄島漁業協同組合による漁獲物すべての販路拡大とPR、地産地消、魚食全般の食育普及に寄与します。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	500	500	477
	人件費	1,343	498	351
	総事業費	1,843	998	828
人員	正職員	0.20 人	0.07 人	0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.20 人	0.07 人	0.05 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	1,843	998	828

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	イベント来場者数	人	目標				
			実績	2,500	2,500	4,500	2,000
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明		H26は2日間実施					
指標	イベント出店数	店	目標				
			実績	9	9	9	5
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		毎年、年1回実施している「三国市場さかな祭」の来場者も多く地元産の水産物のPRや魚食普及などに効果があります。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題 出店者がイベントに慣れていないため、販売数量の見込みが合わない場合がある。また、三国市場で実施するため来場者駐車場が限られこれ、以上の来場者増加が見込めません。
これまでの見直しや改善等の実績	ステージイベントなどの見直し行っています。 出店者数を増やすため参加募集を実施しました。

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	イベントを通じ各種団体の交流が発生し、意見交換や水産業に関連した意見がでるなど、将来的に活躍できる組織となると考えます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	06	農林水産業費	項	03	水産業費	目	02	水産業振興費
大事業	201	水産多面的機能発揮対策事業							
中事業	01	水産多面的機能発揮対策事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	3	地域の活力を創造するまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	3-3	水産業の振興			林業水産振興課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-1	農林水産業の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）		
根拠法令	無					
根拠例規	有		林業水産振興課補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	水産業及び漁村は、古くから、安全で新鮮な水産物を安定的に提供する役割に加え、国境監視・海難救助による生命・財産の保全、保健休養・交流・教育の場の提供など種々の多面的機能を果たしてきています。しかし、漁業者の高齢化、漁村人口の減少などにより水産業及び漁村が関わる問題が深刻化し支障が生じています。このため漁業者等による多面的機能を発揮するための活動を推進します。
実施方法等	漁業者が中心となり設置した活動組織が、藻場の保全活動や漂流漂着物の処理を実施します。活動組織への事業費の交付については、県に設置されている地域協議会が事務処理を行い、当市は県地域協議会に対して負担金を納入します。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	2,575	260	240
	人件費	1,343	924	914
	総事業費	3,918	1,184	1,154
人員	正職員	0.20 人	0.13 人	0.13 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.20 人	0.13 人	0.13 人
財源内訳	国県支出金	260	260	240
	その他特定財源			
	一般財源	3,658	924	914

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	活動組織	組織	目標	5	5	5	5
			実績	5	5	5	5
成果	活動組織	達成率(%)		100.00	100.00	100.00	100.00
		指標の説明					
指標	活動組織が実施する事業対象面積	ha	目標				
			実績	23.2	23.2	23.2	23.2
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標に基づく評価	漁業者が中心となり地域活動として、藻場の保全や漂着物の処理を実施している。漁業者以外の方にも多面的機能の必要性を共有することができ、地域として保全活動が実施できています。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	事業内容が、水辺で行うことから天候に左右され延期や中止が発生する。その都度、事務局が参加者に連絡する必要があり苦勞しています。	
これまでの見直しや改善等の実績	作業記録の保存について、活動内容が把握できる内容に改善を行いました。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	坂井市においても、漁村地域に限らず高齢化が進み本事業の目的を継続して実施する必要があり、各活動組織の中から後継者等が育っていくと考えています。				